

平成24年2月市会定例会提出議案

1 平成24年度京都市自動車運送事業特別会計予算

経 常 収 入	204億45百万円
経 常 支 出	191億97百万円
経 常 損 益	12億48百万円
△ 累 積 欠 損 金	△31億 8百万円
△ 累 積 資 金 不 足	△53億44百万円

<主な業務の予定量等>

年度末在籍車両数	764両 (760両)
走行キロ数 〔1日平均〕	81.3千km (80.7千km)
旅客数 〔1日平均〕	318千人 (317千人)
職員数	798人 (799人)

注 ()内は、平成23年度の数値である。

(1) 予算のポイント

平成24年度予算は、経営健全化計画に掲げた収入増加策やコスト削減策を着実に推進することにより、一般会計からの任意補助金を、地下鉄事業への支援拡大のため計画以上に削減しつつ、安定的で自立した経営の実現に向けて、より一層前進する予算編成とした。

(2) 主要事項

ア 経営健全化の推進

(ア) 収入増加策

- ①お客様の利便性向上に向けたダイヤ編成
 - ・河原町通での等間隔運行の土曜・休日への拡大
 - ・地下鉄をはじめとする鉄道との乗継利便性向上
 - ・沿線地域との連携による運行の充実
- ②「洛バス」100号系統など観光系統の運行充実
- ③水族館開業に合わせた新たな運行の実施
- ④更なる増収・増客に向けた旅客交通調査の実施
- ⑤バス待ち環境の向上

(イ) コスト削減策

- ①総人件費の削減
業務見直し等による職員数削減など
- ②バス車両購入費の削減
個々の車両状態を徹底的に点検精査し、更新車両数を抑制
- ③定期観光バスの運行終了(平成24年3月16日)

(ウ) 一般会計からの任意補助金の削減

バス車両減価償却費等補助金を休止するなど、一般会計からの任意補助金を地下鉄事業への支援拡大のため、計画以上に削減

イ お客様サービスの向上と安全走行の推進など

- (ア) 案内所・定期券発売所の営業時間統一及び延長
- (イ) 事故件数の更なる削減を図り、走行環境の改善やエコドライブの取組を推進するため、24、25年度の2箇年でドライブレコーダーを全車両に導入
- (ウ) 九条営業所建替工事の設計に着手

(3) 財政状況

(税込)

年 度		24年度予算	23年度予算	増 △ 減
項 目		億 百万円	億 百万円	億 百万円
経 常 損 益	営業収益	195 95	197 32	△ 1 37
	運送収益	184 94	186 13	△ 1 19
	その他	11 01	11 19	△ 18
	営業外収益	8 50	18 50	△ 10 00
	一般会計補助金	7 88	18 32	△ 10 44
	収入計	204 45	215 82	△ 11 37
	営業費用	186 13	190 48	△ 4 35
	人件費	78 96	80 41	△ 1 45
	経費	97 45	96 86	59
	減価償却費等	9 72	13 21	△ 3 49
営業外費用	5 84	7 08	△ 1 24	
支出計	191 97	197 56	△ 5 59	
差 引	12 48	18 26	△ 5 78	
△ 累積欠損金		△ 31 08	△ 53 36	22 28
資 本 的 収 支	企業債	8 22	3 06	5 16
	補助金	2 56	60	1 96
	収入計	10 78	3 66	7 12
	建設改良費	12 82	4 27	8 55
	企業債等償還金	18 12	20 28	△ 2 16
支出計	30 94	24 55	6 39	
差 引	△ 20 16	△ 20 89	73	
△ 累積資金不足		△ 53 44	△ 65 60	12 16
資金不足比率		28.2%	34.4%	△ 6.2ポイント

(4) 企業債の状況

年 度 項 目	23年度末	年 度 内 増 △ 減			24年度末
	未償還残高	発行額	償還額	差 引	未償還残高
建設企業債	億 百万円 61 94	億 百万円 8 22	億 百万円 16 12	億 百万円 △ 7 90	億 百万円 54 04

2 平成24年度京都市高速鉄道事業特別会計予算

経常収入	301億80百万円
経常支出	367億84百万円
経常損益	△66億4百万円
現金収支 (償却前損益)	53億92百万円
△累積欠損金	△3,437億37百万円
△累積資金不足	△309億17百万円

<主な業務の予定量等>

年度末在籍車両数	222両[37編成] (222両[37編成])
走行キロ数 〔1日平均〕	56.9千km (56.9千km)
旅客数 〔1日平均〕	334千人 (331千人)
職員数	571人 (579人)

注 () 内は、平成23年度の数値である。

(1) 予算のポイント

平成24年度予算は、経営健全化計画に掲げた収入増加策やコスト削減策を推進するとともに、一般会計から市バス事業への任意補助金を計画以上に削減して地下鉄事業への支援を拡大することにより、平成25年度までに予定していた運賃改定を先送りしつつ、健全化に向けて着実に前進する予算編成とした。

(2) 主要事項

ア 経営健全化の推進

(ア) 収入増加策

- ①沿線施設や大学との連携、イベントの実施、若手職員増客チームの取組等によるお客様増加策の推進
- ②駅ナカビジネスの積極的展開（地下鉄京都駅賑わい創出事業等）

(イ) コスト削減策

- ①駅職員業務の民間委託拡大等による総人件費の削減
- ②高金利建設企業債の借換による利息負担の軽減

(ウ) 一般会計からの支援

- ①地下鉄京都駅賑わい創出事業への出資
- ②地下鉄烏丸線可動式ホーム柵整備事業（基本設計）への補助
- ③国制度に基づく経営健全化対策出資
- ④市バス事業への補助金削減を財源とした高資本費対策補助

イ 地下鉄の安全対策

- (ア) 地下鉄烏丸線可動式ホーム柵の整備（基本設計）
- (イ) 車両安全対策の実施（自動列車停止装置等の改良）
- (ウ) 四条駅換気塔ビルの耐震改修工事実施設計

ウ お客様サービスの向上

- (ア) ICカード乗車券の全国相互利用に向けた機器改修
- (イ) 烏丸線駅トイレの改修（四条駅南改札側）
- (ウ) 案内所、定期券発売所の営業時間統一及び延長

(3) 財政状況

(税込)

年 度		24年度予算		23年度予算		増 △ 減	
項 目		億 百万円		億 百万円		億 百万円	
経 常 損 益	営 業 収 益	249	70	246	79	2	91
	運 輸 収 益	231	06	229	93	1	13
	そ の 他	18	64	16	86	1	78
	営 業 外 収 益	52	10	35	33	16	77
	収 入 計	301	80	282	12	19	68
	営 業 費 用	257	49	258	91	△ 1	42
	人 件 費	57	68	61	26	△ 3	58
	経 費	76	59	72	96	3	63
	減 価 償 却 費 等	123	22	124	69	△ 1	47
	営 業 外 費 用	110	35	116	52	△ 6	17
支 出 計	367	84	375	43	△ 7	59	
差 引		△ 66	04	△ 93	31	27	27
現金収支(償却前損益)		53	92	29	23	24	69
△ 累 積 欠 損 金		△ 3,437	37	△ 3,388	77	△ 48	60
資 本 的 収 支	企 業 債	144	47	123	47	21	00
	補 助 金	11	35	11	26		9
	出 資 金	113	59	118	55	△ 4	96
	そ の 他		0	1	10	△ 1	10
	収 入 計	269	41	254	38	15	03
	建 設 改 良 費	94	08	85	28	8	80
	企 業 債 償 還 金	235	43	210	21	25	22
長 期 借 入 金 返 還 金	8	67	8	67		0	
そ の 他		61		60		1	
支 出 計	338	79	304	76	34	03	
差 引		△ 69	38	△ 50	38	△ 19	00
△ 累 積 資 金 不 足		△ 309	17	△ 309	83		66
資 金 不 足 比 率		64.1%		97.8%		△33.7ポイント	

注：建設改良費には、鉄道・運輸機構借入金返還金49億55百万円を含む。

(4) 企業債等の状況

年 度	23年度末 未償還残高	年 度 内 増 △減			24年度末 未償還残高
		発 行 額	償 還 額	差 引	
項 目	億 百万円	億 百万円	億 百万円	億 百万円	億 百万円
建 設 企 業 債	2,220	[28	[28		
出 資 債	32	0	0	0	32
特 例 債	122	6	23	△16	106
資 本 費 平 準 化 債	481	77	28	76	558
資 本 費 負 担 緩 和 分 企 業 債	850	11	17	△5	844
小 計	3,675	156	235	△79	3,596
鉄 道 ・ 運 輸 機 構 借 入 金	426	0	49	△49	376
長 期 借 入 金	429	0	8	△8	421
合 計	4,531	156	293	△137	4,394

注：発行額及び償還額の上段〔 〕は、建設企業債借換分で内数である。